

評価項目及び評価基準表

業務名:管理職向けDXマインド研修企画・運営業務

実施委員評価項目（採点は、管理職向けDXマインド研修企画・運営業務に係る企画競争実施委員会の委員が行う）

評価項目		評価の視点	配点	評価点				
				特に優れている	優れている	普通	やや不十分	不十分
1	企画提案の総論	(1) 業務目的・業務内容の理解度 ・本業務の目的を正確に把握しているか ・提案内容が仕様書の趣旨と整合しており、庁内の課題に即した内容となっているか ・DX推進における管理職の役割や庁内の変革に対する理解が示されているか ・単なる研修実施ではなく、庁内の意識改革につながる視点があるか	5	5	4	3	2	1
2	実施体制	(1) 過去の業務実績 ・参加要件を満たした上で、管理職層（課長級以上、またはそれに準ずる役職）に対して、DX人材育成に関する研修運営やDX人材育成計画の策定支援の実績があるか（件数・規模・内容） ・自治体の規模や特性が本市に類似しているか。 ・同種・同規模の業務において、成果や評価が確認できるか（例：満足度、継続受託） ・実績が本業務に活かされると期待できるか（事例の活用、改善点の反映）	10	10	8	6	4	2
	(2) 実施体制及びスケジュール	・総括責任者や運営スタッフの配置が明確で、役割分担が適切か ・研修当日の運営（受付、進行、対応等）に関する体制が具体的に示されているか ・業務スケジュールが現実的かつ、繁忙期等を考慮した柔軟な対応が可能か ・進捗管理や委託者との連携体制が構築されているか ・提案書において、協議事項や確認事項が明確に整理されているか	10	10	8	6	4	2
3 提案内容								
	(1) 研修の企画	○研修内容の整合性 ・仕様書に示された業務目的と研修内容が論理的に結びついているか ・講義構成が、目的達成に向けて体系的に設計されているか ・本市の課題や受講者層（管理職）に即した効果的な内容となっているか ・各講義の目的・内容・形式が明確に整理されているか	10	10	8	6	4	2
		○研修内容の具体性・実践性 ・抽象的な概念説明にとどまらず、実務に活かせる具体的な知識・スキルが盛り込まれているか ・自治体業務に即した事例やケーススタディが含まれているか ・管理職が現場で活用できるマネジメント手法や考え方が提示されているか ・受講者が自らの業務に照らして考える機会が設けられているか ・参加を契機として、DXの意欲を喚起する内容であるか	10	10	8	6	4	2
		○研修内容の工夫 ・受講者の理解促進のための工夫（事例紹介、簡易ワーク、質疑応答など）が盛り込まれているか ・座学形式であっても、受講者の参加意欲を高める工夫があるか ・受講者の多様性（業務内容、経験年数等）に配慮した設計がされているか	10	10	8	6	4	2
	(2) 講師等	○能力と実績 ・自治体DXに関する専門的な知識や経験、情報を有しているか ・管理職層に対して、マネジメントや意識改革を促す講義ができる力量があるか ・同種・同規模の研修における登壇実績があり、わかりやすい講義を期待できるか ・講師のプロフィールや過去の登壇内容など、提案書に具体的に記載されているか	15	15	12	9	6	3
		○わかりやすいテキストの作成 ・テキストが研修後の振り返りや庁内共有に活用できるものとなっているか ・テキスト作成にあたっての方針（例：受講者の理解促進、現場活用重視など）が明示されているか ・作成体制（誰が作成・監修するか）が明確で、専門性が担保されているか ・本市との確認・修正プロセスに柔軟に対応する姿勢があるか	5	5	4	3	2	1
	(3) 研修の効果測定・評価	・アンケート調査等による効果測定の方法が具体的かつ妥当か ・研修後の分析・報告および次年度への改善提案に関する方針やプロセスが明確に示されているか ・効果測定の結果を今後のDXの推進や、人材育成に活かす視点があるか	10	10	8	6	4	2
	(4) アーカイブ動画の品質・活用提案	・撮影・編集の計画が具体的で、字幕や視聴環境への配慮があるか ・動画の活用方法（庁内研修、自己学習等）に関する提案があるか	5	5	4	3	2	1
4	追加提案	(1) 業務内容に含まれない事例についての追加提案 ・目的達成に資する創意工夫があるか ・受講者の理解促進、研修効果の向上につながる提案か（例：フォローアップ施策、追加資料提供） ・実現可能性があり、予算の範囲内で実施可能か ・本市の今後のデジタル人材育成やDX推進に資する視点があるか	10	10	8	6	4	2
		合計（委員1人あたり）	100					